

寺田町駅 (JR環状線) ②

難波宮の幻の大路・難波大道を歩く

河堀口駅 (近鉄南大阪線)

「大阪あそぶマップ集」
その3 No.137

JR寺田町駅

寺田町駅より一直線に北上すると難波宮に当たります。『日本書紀』に「天武8年(679)、初めて関を竜田山、大坂山に置く。依りて難波宮に羅城を築く」とあり、天武天皇によって難波と大和を結ぶ主要道に関を設け、難波京の周囲に城壁をめぐらしたとあります。じつは寺田町駅界限は難波宮の南端で、ここに羅城があったという説があります。

①難波大道

『日本書紀』によれば推古21年(613)に「難波から京に至るまでに大道を置く」とあり、難波から飛鳥まで難波大道が設けられました。昭和55年(1980)に大和川・今池遺跡(松原市)で全長約170メートルにわたって古代の道路跡が発掘され、堺市常磐町でも幅18メートルの道路遺構が見つかりました。この直線道路を北に延長すると難波宮の中軸線上に位置し、さらに出土品も難波宮とほぼ同時代のものであることから難波大道の遺跡と考えられています。

②下高野街道(田辺街道)

高野詣の道です。ルートは四天王寺～寺田町～田辺～天美(松原市)～八下(堺市)～岩室(大阪狭山市)で、その後、西高野街道と合流します。田辺街道とも呼ばれます。

③三本松の跡

かつて、このあたりに「ボテシヨの池」がありました。大正期中ごろに埋め立てられました。傍の三本松(じつは榎でした)が、かろうじて残され、「八平狸の祠」と呼んで地域の信仰対象で

した。しかし時代が変わると信心が薄れ、昭和13年(1938)ごろに伐採されました。

④八反田地蔵

長く地蔵といわれていましたが、調査してみると、じつは阿弥陀如来でした。地元では大坂夏の陣で非業の死を遂げた豊臣方の武士の霊を弔うために祀られたものと伝えられています。寺田町からまっすぐに北上すれば大坂城(難波宮跡)で、ここは激しい戦闘地域でした。

⑤猫間川跡

往古は自然の川でしたが現在は暗渠です。猫間川の名称については「古代の高麗川が訛った」という説や「このあたりが猫間家の所領であったから」という説もあります。

⑥法山寺

明治中ごろまでサボテンがあったので「サボテン寺」ともいわれました。かつては四天王寺別院でしたが昭和20年(1945)の空襲に遭い、昭和25年(1950)に天王寺区伶人町から移転してきました(移転跡地は現在の星光学院)。めずらしい薬医門があり、これは室町時代に寺院や医師の家に使われました。扉を設けない門で、24時間死者、悩み事、病人に対応しますという意味です。



近鉄河堀口駅

